

平成25年9月17日

運転士がA T S (自動列車停止装置)の スイッチを損壊した件について

運転士が、乗務中にA T S (自動列車停止装置)のスイッチを損壊した件については以下の通りです。

1. 発生日時 平成25年9月7日(土) 16時49分頃
2. 発生場所 函館線 札幌運転所構内
住所：札幌市手稲区曙1条3丁目1-1
3. 列車 寝台特急 北斗星となる車両
(札幌17時12分発 上野行き 11両編成(機関車除く))
4. 概況

平成25年9月7日(土)16時49分頃、寝台特急北斗星(札幌17時12分発上野行き)となる車両が札幌運転所から出区する際に、非常ブレーキが動作し停止しました。原因は、運転士が出区前の点検の際、重連機関車(2両)の後ろ側機関車のA T Sを「切」とすべきところ「入」としており、札幌運転所検修社員の点検前に「切」とし、その旨を報告しなかったためです。その後、札幌運転所検修社員が点検を行った結果、異常がなかったことからA T S誤動作と判断し、前後の機関車の交換を行って、札幌駅を75分遅れで発車しました。

函館駅到着後、東室蘭駅で交代した別の運転士が函館駅構内での入換中にA T Sのスイッチが壊れていることを確認したため、函館運輸所で調査するとともに、当該運転士から継続して事情を聞いたところ、札幌運転所で非常ブレーキが動作した原因がA T Sの切り忘れであったことを車両故障に見せかけるため、機関車交換中に機関車(DD51-1100号)の前側のA T Sスイッチを足で蹴りさらに備え付けのハンマーで損壊させ、また出区の際に乗務していた機関車(DD51-1143号)の後ろ側のA T Sスイッチもハンマーで損壊させたことが判明しました。

運転士がATSのスイッチを損壊した件について

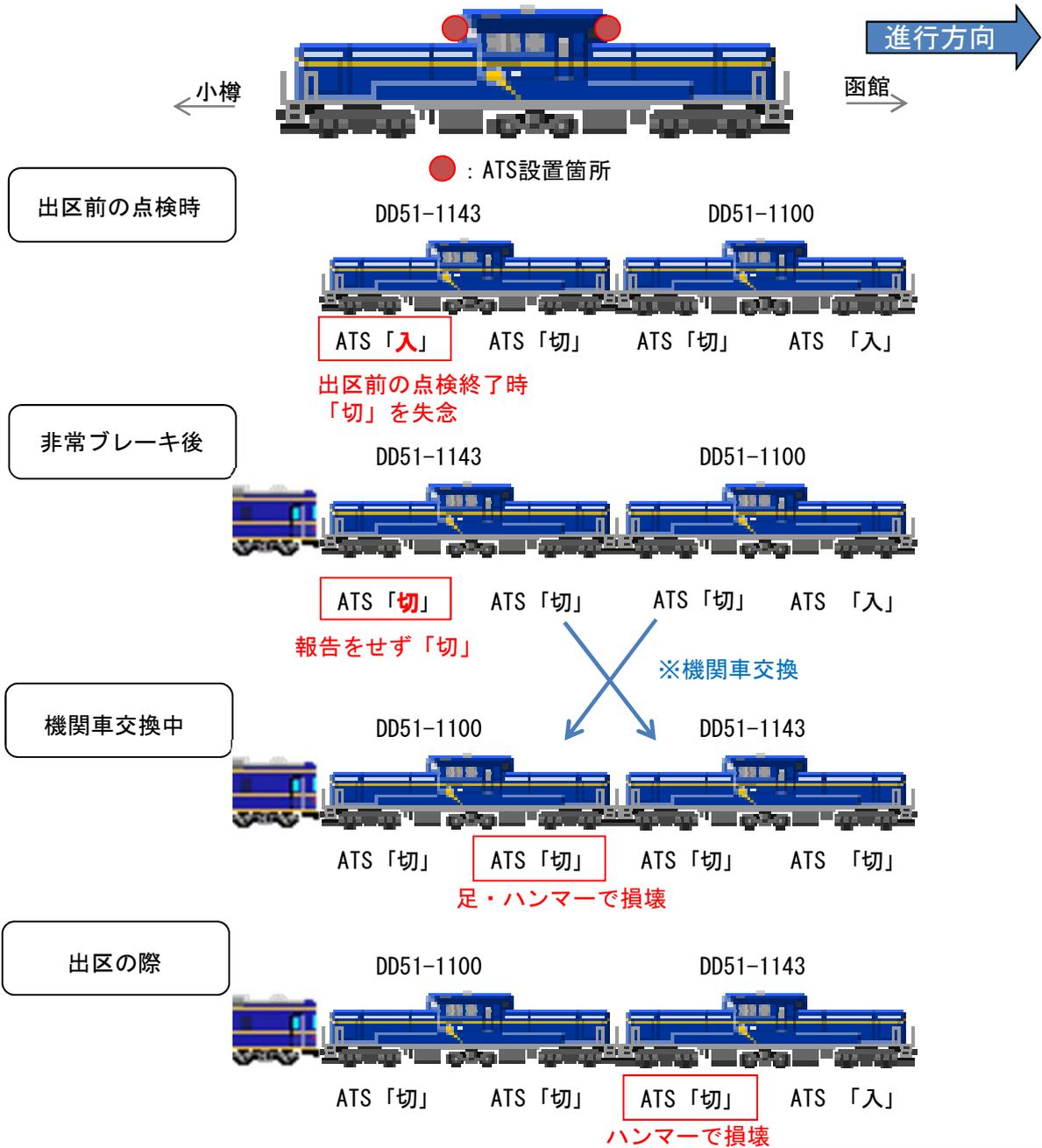


図1 正常なATSスイッチ



図2 損壊したATSスイッチ
(DD51-1100)



図3 損壊したATSスイッチ
(DD51-1143)